

だいでうじこもんじよ  
86. 大同寺古文書

■ 指定日

昭和55年3月31日

■ 種別

有形文化財 歴史資料

■ 年代

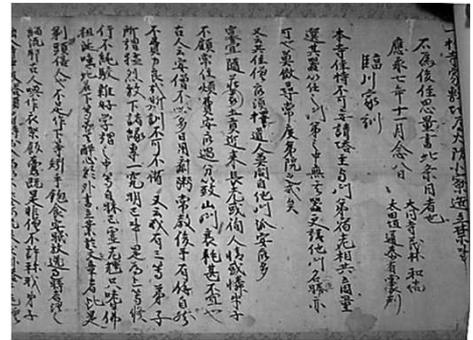
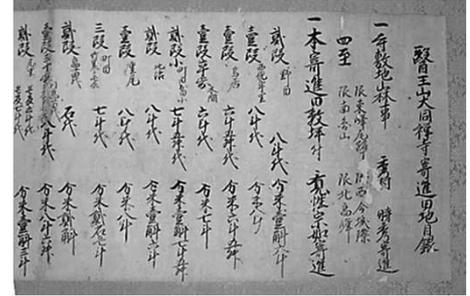
南北朝時代～室町時代

■ 所在地

朝来市山東町早田

■ 所有者

大同寺



■ 内容

大同寺に伝わる古文書で、1巻並びに3通からなる。

- 古文書 第一 醫王山大同禪寺寄進田地目録1巻  
 第二 大同寺寺規類  
     寺規一、大明寺殿規式 1通  
     寺規二、壁書 1通  
     寺規三、臨川家訓 1通

『醫王山大同禪寺寄進田地目録』には、貞和2年(1346)から応永27年(1420)まで74年間の寄進田地について詳記されている。

寺規一、大明寺殿規式は、山名常熙が応永7年(1400)11月28日付で定めたもの。

寺規二、壁書は、細則めいたものであるが、規式の6年後応永13年(1406、月菴録完成の年)住持等3名によって定められている。

寺規三、臨川家訓は、もと京都臨川寺夢窓国師が暦応2年(1339)に定めたものを必要性に応じて加除修正したものである。